

特集

〈事例〉

養成講座や多様な経験を生かし 市民のワクチン接種を支える

公益社団法人
長浜市シルバー人材センター

(滋賀県)

長浜市SCは、市の委託を受けて、令和3年5月から新型コロナウイルスワクチン集団接種会場の設営や案内、予約サポートの就業を行っている。初めて受けた仕事だが、就業会員はそれぞれの持つ知識や経験を生かし、高齢者と同じ目線で優しく対応するなどの力を発揮して活躍。予約サポートの就業では、センターで開催した「ITサポーター養成講座」を受講した会員も奮闘した。

ワクチン接種会場の設営や 会場での案内などを担う

長浜市SCでは、市の委託を受けて、令和三年五月から、新型コロナウイルスワクチン集団接種会場の設営・物品搬入と接種期間中の会場での駐車場整理・案内を会員が担当。設営・物品搬入の就業は十二月で終了したが、駐車場整理・案内は令和四年三月現在も続いている。

加えて、令和四年一～二月の三日間、市に委託されて、ワクチンの三回目接種について、市民の予約をサポートする仕事も担った。これは、タブレット端末を使って行うもので、長浜市SCでは事前

に「ITサポーター養成講座」を開催しており、受講した会員が学んだことを早速就業に生かした。

市から、ワクチン接種に関する依頼を初めて受けたのは、令和三年度に入つてすぐのこと。

高山幸嗣総務課長は「コロナ禍に終始した令和二年度は、契約金額も会員数も減少しました。当初は、感染を恐れて就業などの活動を停止したいという会員の声もありましたが、令和三年度に入ると感染症に対するさまざまな知見・知識が社会に示されてきて、感染防止対策を徹底してできることから再開しようという雰囲気センター内に出始めました。事務局としても、市民のワクチン接種を支



新型コロナウイルスワクチン接種関連の就業に携わった、長浜市SCの会員。写真左から、宮本増夫さん、角川智子さん、鈴木由美子さん

えるという、市から提示された新しい仕事に対して、積極的に取り組んでいこうと考え、受託しました」と振り返る。

同センターでは、基本的な感染防止対策の徹底とその呼び掛けに加え、令和二年四月に「新型コロナウイルス感染症対応マニュアル」を迅速に作成。会員や同居家族に感染が疑われる場合の対応について周知するなど、できる限りの対策を講じて事業を進めている。

九か月の就業延人員は 九百二十七人日

ワクチンの接種会場に関わる就業は、令和三年五月〜令和四年一月末日に六十三人の会員が就業し、就業延人員は九百二十七人日となっている。

内訳は、次の通り。

●会場の設営・物品搬入

就業実人員：十三人

就業延人員：三百七人日

受託した会場：三十か所



集団接種会場の案内板などの設置も長浜市SCが受託した(写真上)。会場の要所に会員が立ち、案内を担当(写真下)。この会場では、多い日は約300人が訪れる



●会場での駐車場整理・案内

就業実人員：二十一人

就業延人員：四百七十三人日

受託した会場：十か所

●会場での案内等

就業実人員：四人

就業延人員：八十七人日

受託した会場：六か所

●接種予約サポート

就業実人員：二十五人

就業延人員：六十八人日

受託した会場：十か所

接種会場に関わった 就業会員の声

●会場の設営・物品搬入

宮本増夫さんは「コロナ禍で忙しい市役所のお手伝いができたことは良かったと思います。接種会場の設営は誰もが初めてですから最初は戸惑うこともありましたが、回を重ねるうちに慣れてきて、市役所の人から安心して任せられます」と言ってもらえました」とこやかに言う。

会場設営では、案内板の設置、テーブルや椅子などのセッティングを行った。撤去時は使用した椅子を一脚ずつアルコール消毒する作業もした。会場の規模に応じて四人または八人で組んで、三十の会場を担当。宮本さんは、令和三年五月〜十二月に六十回就業した。

「一緒に就業したのは初めて顔を合わせた会員でしたが、だんだん親しくなれて、うれしかったです」とも話した。

●会場での駐車場整理・案内

就業前は感染に対する不安が多少あったという北村金蔵さんは、日ごろから対策を徹底し、就業時也十分に気を付けていた。令和三年五月から就業しており、令和四年三月の時点で週二〜三回、一回五〜六時間就業している。

「集団接種会場の駐車場から、会場への案内が主な仕事です。現在は、令和四年一月に開設された大規模商業施設の会場を担当しており、主に施設入り口から接種会場入り口への案内を行っています」と北村さん。

特に気を付けているのが、雪や雨の日の転倒を防ぐことである。床が濡れて滑りやすくなるため、迅速に拭き取ることに努めているという。「安全第一を心掛けています。役に立っているという自覚はありませんが、この就業に携わったことで地域の役に立っているのなら良かったと思います」と、笑顔で話してくれた。

集団接種会場では、接種する人の脱衣などを会員がサポートすることもある（写真左）。高齢者を対象に、ワクチンの三回目接種のウェブ予約を会員がタブレット端末を使ってサポート（写真下）



●会場での案内等

接種会場で案内役を務めている鈴木由美子さんも、令和三年五月から就業。令和四年一月からは、北村さんと同じ大規模商業施設内の会場を担当している。最近一か月の就業は十二回、各回五〜六時



間である。

「主に検温する場を担当しています。接種する人の上着の脱衣などをサポートすることもあり、必要な支援を行っています」。

大勢が訪れる会場での仕事に、最初は少し感染の不安もよぎった

というが、高齢者が安心して接種できる手伝いができるならと、就業することにした。接種会場では、「助かるわ」「ありがとう」と感謝されることが多いと言う。

「接種会場の案内に携わることができて、良かったと思います。これからもしつかり行っていきます」と、優しい表情で話した。

●接種予約サポート

ワクチンの三回目接種に合わせて、市では、自分で予約することが難しい高齢者を対象に、ウェブ予約を支援する窓口を令和四年一〜二月に三日間開設。角川智子さんは、訪れた高齢者に対して、タブレット端末を使った予約サポートを行った。

その直前の令和三年十一月、長浜市SCでは、高齢者活躍人材確保育成事業として「ITサポート・養成講座」を全十回開催。角川さんはパソコンの基礎やスマートフォンなどの使い方を学んだ。講座が終わるころに、市からこの

仕事を打診され、角川さんなど受講者五人を含む会員二十五人が就業した。

「養成講座は農閑期に開催されたので、思い切つて受講しました。修了後に予約サポートの仕事を知り、やってみたいと思いましたが、



令和三年十一月に開催した「IT サポーター養成講座」

基礎を学んだばかりでしたので、この就業に向けて開催された市のタブレット端末での予約方法の講習を二回とも受講して、就業に備えました。」

就業日は、会員が二人一組になり、高齢者の接種予約をサポート。「後日、サポートした人に偶然お目にかかり、接種できたよ。おおきになあ」と言ってもらえて、うれしかったです。勉強したことが役に立った喜びと感謝を感じています」と話した。

スキルを磨いて 就業の間口を広げる

「三回目の接種計画が立てられる際、市から、予約サポートの仕事の打診されました。ITサポーター養成講座で備えていたので、できますと即答しました」と、高山総務課長。この就業では、三日間で約五百人の予約をサポートしたと、後日、市から連絡を受けた。今回の接種会場や予約サポート

の就業について、「各現場では、会員のさまざまな経験や、高齢の市民と同じ目線で相談に乗りながら対応できる力が発揮されました。そのことも良かったと思います」と高山総務課長。そして、「コロナ禍に関わりなく、最近では多岐にわたる依頼があつて、センターの就業は様変わりしてきています。このため、事前準備として人材育成が大事になっています。会員のスキルを磨き、生かすことで受注の間口を広げていきたい」と語った。

藤本茂良常務理事兼事務局長は「接種会場や予約サポートについては、苦情も問題もなく仕事が出ています。会場設営についても、市から助かったという声が聞かれました」と会員の仕事を誇りました。

「予約サポートの仕事が、ITサポーター養成講座の開催後に受注できたのは、大変意義のあつたことだと考えています。これからは、誰もがスマートフォンを使う時代になるでしょう。しかし、操作す

ることが難しい人もいますから、予約サポートのような仕事は増えていくかもしれません。将来を見据えて、今から多様な就業の道を開いておくことも大事だと思います」と、今後の方向性を示した。
(増山美智子)

事業運営状況 (平成28年度～令和2年度)

年度	会員数			粗入会率	就業実人員 (延人員)	就業率	受注件数	契約金額	公民比
	男	女	計						
平成28	860	717	1,577	4.0	1,308 (153,451)	82.9	5,654	664,669	18.7/81.3
29	872	735	1,607	4.0	1,325 (156,338)	82.5	5,598	687,882	21.1/78.9
30	890	748	1,638	4.1	1,443 (156,211)	88.1	5,582	707,600	20.9/79.1
令和元	889	753	1,642	4.1	1,422 (154,891)	86.6	5,612	732,648	21.9/78.1
2	868	734	1,602	4.0	1,337 (145,326)	83.5	5,192	715,110	25.4/74.6

※受注件数、就業実人員、契約金額は請負・委任と労働者派遣事業を合計した数値
 ※就業実人員は平成29年度まで請負・委任、平成30年度以降は請負・委任と労働者派遣事業が対象
 ※就業実人員は令和2年度から労働者派遣事業の教育訓練受講を含む